

**JSAF**一般財団法人 JSAF
Global Academic Education

留学体験記

アメリカ・ウェスタンカロライナ大学 留学中間報告

JSAF 2025 年秋派遣 第一回留学レポートより

「3ヶ月、母国語の通じない国で生活してみてわかったのですが、笑顔で感謝を伝えれば大抵のことはなんとかなるものだと感じました。」

派遣先大学	ウェスタンカロライナ大学(Western Carolina University／アメリカ・ノースカロライナ州)
在籍大学	大阪教育大学 教育学部 教育学科 4年
留学形態	休学留学
派遣期間	2025 年秋派遣(1 学期目終了時点の報告)

※本体験記は派遣生の第一回留学レポート(1 学期目終了時点・留学継続中)をもとに再構成した中間報告です(保存用・氏名入り。公開時には氏名を削除してください)。

1. 留学前半を振り返って——身についたスキル

留学が始まって数か月が経ち、現地での生活にも慣れてきました。到着後から現在までで、英語の中でもリスニングのスキルはかなり伸びたなという印象があります。また、話す際にもよく出てくる表現などがわかってきて、会話もスムーズになりました。わからないことを聞くのに最初は戸惑いがありましたが、それも今では薄れてきました。

3ヶ月、母国語の通じない国で生活してみてわかったのですが、笑顔で感謝を伝えれば大抵のことはなんとかなるものだと感じました。

2. 渡航準備と到着後

渡航前に日本で準備しておけば良かった点: 特にないです。

日本から持ってくれば良かった物: 冬着をもう少し持ってくればよかったと思っています。

到着後すぐに購入が必要だったもの: シャンプーやボディソープなどの浴室用品や、ボックスファンです。

初日のオリエンテーション: 特に難しいことはなかったです。

3. 授業と学び

1 学期目(秋学期)は 5 科目・計 13 単位を履修し、成績はすべて A でした。どのクラスも 95%以上がアメリカ人学生という環境です。

科目	単位	成績	内容と感想
ENGL101 Writing and Rhetoric	3	A	自分の意見を述べたり、他人の意見に対して見解を述べる機会が多く、アメリカに住んでいる人々の考え方が少しわかりました。成績は課題でつけられ、小さな課題が週に 2~3 個(各 2~5 点)、大きな課題は中間(20 点)と期末(100 点)の 2 回のみ。毎回の課題はすべて満点をもらい、最終課題も 9 割以上もらいました。課題のために読む分量・書く量が非常に多く、ついていくのに必死でした。
EDCI191 Schools and Society	3	A	アメリカの学校制度における不平等や、入試に用いられる標準化テストの信頼性について学びました。課題が毎週あり、最終課題の比重は毎週の課題の 3 倍。すべての課題で 9 割以上をもらいました。授業中にグループで話すことが多く、会話についていったり意見を伝えるのに苦労しました。
PSY150 General Psychology	3	A	一般的な心理学の概念について学びました。单元ごとの小テスト(各 20 点)と大きなテスト 5 回(各 100 点)に加え、グループ発表と期末レポート(各 100 点満点)で評価されます。小テストは 8~9 割を維持し、大きなテストも最初は 7 割ほどだったのがだんだんと 8 割・9 割と取れるようになり、グループ発表と期末レポートは 100 点を取りました。人体の構造や臓器の名前がどうしても覚えづらく苦労しました。
COUN140 Skills for College Life	1	A	WCU での過ごし方、活用できる施設や支援について教えてもらいました。課題がいくつかあり、それぞれ同じような配点で、すべて満点をもらいました。グループでの意見交換についていくのに苦労しました。
FPI101 Experiencing the Arts	3	A	アートとは何か、どんな種類があるかという基本的なことから、この地域特有のアートに触れたりして芸術について学びました。单元ごとの小テスト(50 点満点)と、芸術鑑賞の感想課題(100 点満点)が 4 つありました。アメリカでの劇やバレエ、演奏が 0~10 ドルで鑑賞できるので、非常にいい経験になりました。

■ クラスの雰囲気

- ENGL・PSY・COUN: 数人、活発に発言する学生がいます。
- EDCI: クラス全体が騒がしい(にぎやかな)印象です。
- FPI: 100 人規模のため、公演のような雰囲気です。
- 人数・国籍の割合: すべてのクラスで 95%以上がアメリカ人です。

■ 勉強時間と学習方法

長くても 1 日に 2 時間ほど費やせばすべての課題が終わる授業でした。課題は主に自室や、ソファのある共有スペースで行っていました。英語に関しては、部屋にこもって勉強するよりも友人と話した方が力がつくと思います。

4. 英語力の伸びとスキル別の工夫

英語力は伸びていると感じます。相手が何を言っているかわかることが増えてきましたし、きちんと会話できているなど感じる場面も多くあり、「英語上達したよ」と友人から言われることもありました。

スキル	苦勞した点	工夫した点
リスニング	英語を話すスピードが速く、単語を聞き取れないことが多くて苦勞しました。また、知っている単語でも音がつながると理解できないことがありました。	一度話を聞いた後に、話したであろう内容を確認することを繰り返しています。
スピーキング	どうしても日本語を翻訳する癖が抜けないので、できるだけ日本語で考えないようにしています。	よく出てくる表現を覚えておいて、それを積極的に使うようにしています。
リーディング	一度の課題等で読まなければならない量がネイティブ基準なので、その量を読むのに苦勞しています。	話の大筋をまずは掴むようにしています。
ライティング	どうしてもネイティブからすると違和感のある文章になってしまうようです。	友人に書いた文章を読んでもらって、一緒に改善したりしています。

5. キャンパスライフ

■ 寮生活と食事

寮のルームメイトとの関係は良好です。食事はカフェテリアでの食事が基本でした。

■ 交友関係

- 現地の学生：頻繁に話すのは 5 人ほどです。そのうちの 1 人は毎日時間を過ごすくらいの仲です。
- 他の国からの留学生：20 人ほど友達がいます。仲のいい現地の学生と一緒に遊んだりしています。
- 日本人：5～6 人ほどいます。他の国の留学生と比べるとあまり会っていません。

■ 大学のある街

山に囲まれた立地で、ダウンタウンまでは車で 15 分程度です。お薦めスポットは、Dillsboro という街の Haywood Smokehouse という BBQ レストランで、美味しかったです。一方で、車がないと日々の買い物も不便です。



6. 課外活動と休暇の過ごし方

スポーツは、ごく稀に気分転換にジムに行く程度です。冬休み中は、英語の勉強をしながらゆっくり過ごす予定です。カフェテリアが閉まっているので、自炊もするつもりです。

7. 費用と持ち物

項目	内容
生活費(月のお小遣い)	60,000 円ほどです。
到着後すぐに購入したもの	シャンプーやボディソープなどの浴室用品、ボックスファン。
持ち物のアドバイス	冬着をもう少し持ってくればよかったと思っています。

8. ここまでを振り返って・最終学期に向けて

次の春学期は、ENGL 326(Schools, Laws, and Language)、ENGL 312(Grammar for Teachers)、ENGL 413(ESL Methods for Content Teacher)、ENGL 415(Applied Linguistics)といった、言語と教育に関わる科目を履修する予定です。

「帰国までにできるだけ英語力を伸ばせるように、もっと友人と話したりしたいです。」

本記事は JSAF 派遣生(保存用・氏名入り)の第一回留学レポート(留学継続中の中間報告)をもとに再構成したものです。